

中高生による「食品ロス削減・子どもの食」の課題解決に向けた活動

(中高生の「食品ロス削減・子どもの食」課題解決プロジェクト food moVing on!!)

「日本にも飢餓がある。～食の大量廃棄、その一方で、6人に1人の子どもが温かい食事を取れていない～」という社会問題を知り、身近なことから行動しようとプロジェクトを立ち上げ。2016年から活動が続けている。

- ❑ 食品ロスについて知るため、国の機関や民間団体へ出向いてヒアリング活動を実施。
- ❑ 2016年から毎年、夏休み期間に公園で募金活動を実施。集まった募金を子ども食堂へ全額寄付。
〈自分たちで取材した情報をまとめ、作成したリーフレット〉

- ❑ 学生団体や民間団体の活動へ積極的に参加。
- ❑ 地域の子どもたちに、食品ロスの問題を知ってもらうため、手作りのハロウィン企画「もったいないお化け、食品ロスってなに？」を開催。
〈会場の様子と広告〉


- ❑ クラウドファンディングにて集めた資金で、リーフレット3万部を作成し、各地の社会福祉協議会や学校を通じて配布。
- ❑ 食品ロス周知活動の一環で、グループ代表による世界食料デーイベント等での講演や高校での授業を実施。



- ❑ 活動が認められて、リプトン サステナビリティ大使プログラムで、2016年度「こども国連・リプトン サステナビリティ大使賞（大賞）」、2017年度「ユニリーバ・フューチャー・リーダーズ・スクール賞」を受賞。

平成29年度消費者白書 コラム

中学生によるチーム「food moVing on!!」の活動

中高生の「食品ロス削減・子どもの食」課題解決プロジェクト food moVing on!!

C O L U M N 2

中学生によるチーム「food moVing on!!」の活動

お茶の水女子大学附属中学校の生徒によるチーム「food moVing on!!」は、2016年7月にこども国連環境会議推進協会に参加したことをきっかけに結成されました。中学生としては初めて「NO-FOODLOSSプロジェクト」にも参加し、地域や他団体と連携して活動しています。

活動では、食品ロスについて皆にもっと知ってほしい!、食への意識を持つ人を増やしたい!、誰かではなく自分たちから未来を変えて行こう!、という意識の下、数々のアクションプランを立ち上げました。具体的なアクションと成果の一例は次のとおりです(図)。この活動は、2016年度 こども国連・リプトン サステナビリティ大使賞(大賞)を受賞しました。

2016年アクションプランと成果(一例)

・上野公園募金活動(8月)

⇒目標に対して、達成率313%

⇒文京区社会福祉協議会を通じてこども食堂へ寄付



・エコレシピ作成→(9月)



←オリジナルロゴデザインのグッズ制作

・クラウドファンディング立ち上げ(11月)

⇒目標に対して、達成率166%を4日間で達成

⇒リーフレット作成資金へ充当

⇒食品ロス削減リーフレット3万部作成、各地の社会福祉協議会や学校を通じて配布

日本中でクラウドファンディングを使った活動が広がっています。

日本にも飢餓がある!皆で関心を持って、子どもの食を守りたい!



↓SNSでの発信



多くのアクションが成功したのは、背景に、中学生の学ぼうとする姿勢に対して、誠実に正面から生徒達に向き合った協力者や支える輪があったからだと考えています。この活動を通して、生徒たちからは「実際に行動し、新しい気づきを得ることが未来に向かい、問題解決につながる」、「一人一人の行動が変わると社会全体での問題解決に近づく」との感想が寄せられています。今後も多くの生徒達に声を掛け、活動の輪が広がっていくことが期待されます。